

事業報告

平成 30 年度

【平成 30 年4月1日から平成 31 年3月31日まで】

学校法人 高槻双葉学園

学校法人 高槻双葉学園

1. 法人の概要

- ① 名称：学校法人高槻双葉学園【昭和42年3月31日法人設立】
- ② 住所等：大阪府高槻市宮野町21-18
- 電話番号 072-675-0250
- ファックス 072-675-9085
- ホームページ <http://2.takatukifutaba.ed.jp/>
- メールアドレス futaba@gaia.eonet.ne.jp
- ③ 設置する幼稚園名
- 幼稚園の名称：幼稚園型認定こども園 高槻双葉幼稚園
- *認可定員：420名
- *利用定員：330名【1号認定270名、2号認定60名】
- ④ 連携提携施設
- *キッズルームふたば（連携受入枠8名（3歳児））
- *のぼら保育園たかつき（連携受入枠7名（3歳児））
- ⑤ 理事長氏名：岡部 圭二
- *理事6人、監事2人、評議員17人（内、理事は評議員を兼任）
- ・定例理事会 年4回開催（5月・9月・1月・3月）
- ・定例評議員会 年4回開催（5月・9月・1月・3月）
- ⑥ 学校評価委員会：14名（外部評議員8名、保護者6名）
- *委員会 年2回開催（9月・3月）
- ⑦ 高槻双葉幼稚園の教職員の状況【合計44名：業務委託除く】
- 園長1名 副園長1名 主幹教諭2名 指導教諭1名
- 保育教諭23名（内、1名育休） 事務長1名 事務員2名 保育補助7名
- 給食管理栄養士1名 給食調理員5名
- 【バス運行業務委託（運転手2名）】
- ⑧ 小規模保育事業（キッズルームふたば）の教職員の状況【合計：15名】
- 管理者1名（保育士） 主任1名 保育士10名 給食管理栄養士1名
- 給食調理員2名
- ⑨ 子育て支援事業
- *にこにこクラブ（2歳児） 保育士2名【合計：2名】
- *園庭開放（0歳～2歳親子）
- ⑩ 園医（3名） 内科医（ちばクリニック） 歯科医（手島歯科医院）
- 眼科医（古賀眼科）

2. 事業報告（平成30年度）

⑪高槻双葉幼稚園教育方針

- *調和のとれた人間性を育てます。
- *心身共に健康な子どもの育成を目指します。
- *知性と情緒豊かな感動を覚える子どもに育てます。

幼稚園型認定こども園として、新たなスタートを切って2年が経過し、まだまだ課題はあるものの、運営面では少し落ち着きが出てきた。

今年度も「子どもの育ちを一番に考えた教育、保育の提供」という教育方針のもと、教職員が一丸となって良質な幼児教育の提供に努めてきた。

当園は、園庭を大きくゾーン分けし、ボール遊びやかっこ等の遊びのできるグラウンドのゾーンと園児の冒険心をくすぐり、年齢や力量に応じてトライできるアスレチック遊具や木登りのできる大きな木を有する山のゾーンに分かれており、日々、色々な遊びを園児が自分たちで選択し、創造的に発展することができる環境整備に努めており、絶えず先生たちが保育環境に気を配りながら、ひとりひとりの子どもに目を向け、日々、緩やかにつながりのある保育に努めている。

また、子どもたちの健やかな成長を保障するためには、園と家庭が信頼関係を構築し、両輪となり同じ方向を向いて取り組んでいくことがとても重要となる。

その意味で「親育ち」が大きなキーワードとなっており、当園は親育ち支援の一環として、園の教育活動や子どもの成長を保護者にしっかりと理解してもらうために開催している教育説明会や年2回（4月・3月）開催している「子育て支援講演会」をはじめ、各学年から定期的に学年だよりを発行し、幼稚園生活（遊びや行事等）の中で子どもたちがどのように育っているのかをしっかりと伝えている。

これらの情報を共有することにより、園と家庭が連携して子どもの成長を支える園の文化の醸成を目指している。

更に当園の特色である保護者の保育参加や「ふたばパパスイッチ（おやじの会）」、「行事サークル」、「絵本サークル」「クラフトボランティア」「幼稚園まつりボランティア」等、体験型の活動を通じて保護者の自己実現することにより、広い視野を持てる保護者の育成にも力を入れてきた。

今年度も上記の活動を更に深化させることにより、園児の成長を通じて、先生、保護者も日々育ちあえる園として一定の成果を収めたと考えている。

更に「自己評価とその公表」については、「本年度の重点項目」の取り組み並びに「学校関係者評価委員会による評価」についても積極的に行い、園の教育・保育の質を高めていくことに寄与できたものと考えている。

また、昨年度、園内研修で課題となった当園の教育理念を理解して日々の教育・保育が行われているかということについて、教育・保育を再検証することにより、

各教職員が教育理念を意識しながら日々の教育・保育を展開する自覚が芽生えたが、今年度も園内研修を通じて日々の教育・保育に沿った良い点や課題を見つけることで各人の資質を高めることができたと考えられる。今後も更に自園の教育、保育の質を高めていくことを目指していきたい。

＊昨年度（平成 29 年度）自己評価重点項目

1. 危機管理について
2. 地域との関わりについて
3. 研修について（園内研修の充実）
4. 子育て支援について

＊本年度（平成 30 年度）自己評価重点項目

1. 教育課程の見直しについて
2. 研修・研究の充実について（園内研修の充実）
3. 子育て支援について

⑫学年、定員、実員（内訳）学級数

＊高槻双葉幼稚園（平成 30 年 4 月 1 日現在）

学 年	認可定員	認可学級数	利用定員	実 員	実学級数
3 歳児	140 名	6 クラス	1 号 90 名 2 号 20 名	1 号 102 名 2 号 20 名 (122 名)	5 クラス
4 歳児	140 名	4 クラス	1 号 90 名 2 号 20 名	1 号 89 名 2 号 20 名 (109 名)	4 クラス
5 歳児	140 名	4 クラス	1 号 90 名 2 号 20 名	1 号 93 名 2 号 11 名 (104 名)	4 クラス
合 計	420 名	14 クラス	1 号 270 名 2 号 60 名 (330 名)	1 号 284 名 2 号 51 名 (335 名)	13 クラス

⑬教育時間

- 月～金曜日：午前 9 時～午後 2 時 水曜日：午前 9 時～12 時（1 号認定児）
- 土曜日：休園
- 月・火・木・金曜日、完全給食（月 1 回程度弁当あり）

⑭保育時間

- 月～土曜日：午前 7 時 30 分～午後 6 時 30 分（2 号標準時間認定児）
- 午前 7 時 30 分～午後 3 時 30 分（2 号短時間認定児（A パターン））
- 午前 8 時 30 分～午後 4 時 30 分（2 号短時間認定児（B パターン））

⑮保育料及び諸経費

○保育料

- ・基本負担額（月額）：所得に応じて市町村が決定
- ・特定負担額（月額）：5,000円（1号認定児）（平成29年度以前入園児：3,400円）
6,000円（2号認定児）（平成29年度以前入園児：4,400円）

○給食費： 57,600円/年（1ヶ月4,800円×12ヶ月）（毎月分納）【1号児】

○主食費： 24,000円/年（1ヶ月2,000円×12ヶ月）（毎月分納）【2号児】

○園バス維持費：43,200円/年（1ヶ月3,600円×12ヶ月）（半期毎に分納）

○保護者会費： 6,000円/年（1ヶ月500円×12ヶ月）【双葉会】

⑯入園時の費用

○願書代： 700円

○検定料： 5,000円

○入園準備金：40,000円

○施設費：20,000円

⑰預かり保育（*1号認定児及び2号短時間認定児の延長預かり）

○月・火・木・金曜日：午後2時～午後5時30分まで（1号A500円、B700円）

○水曜日：11時30分～午後5時30分まで（*昼食持参）（1号A800円、B1,000円）

○土曜日：1号認定児の就労者（就労証明必要）（2,000円）

○早朝延長預かり保育（月～土曜日）

・早朝：午前7時30分～午前8時30分 7:30～8:00（300円）、8:00～8:30（200円）

・延長：午後5時30分～午後6時30分 17:30～18:00（200円）、18:00～18:30（300円）

○長期休業中の預かり保育あり（夏・冬・春）

【1号認定A】午前8時30分～午後5時30分まで（1,200円）

☆早朝 7:30～8:00（300円）、8:00～8:30（200円）

☆延長 17:30～18:00（200円）、18:00～18:30（300円）は別途徴収

（*早朝：午前7時30分～*延長：午後6時30分迄）

【1号認定B】午前8時30分～午後5時30分まで（1,400円）

☆早朝 7:30～8:00（300円）、8:00～8:30（200円）

☆延長 17:30～18:00（200円）、18:00～18:30（300円）は別途徴収

（*早朝：午前7時30分～*延長：午後6時30分迄）

⑱行事の実施予定

- 4月/入園・進級式（保護者同伴）、始業式、身体測定、双葉会予算総会&子育て支援講演会、キンダーカウンセリング、給食開始、クラス記念写真撮影、保育参加説明会、交通安全指導、避難訓練（地震）

- 5月/体育・英語・音楽指導開始(全学年)、遠足(全学年)、保育参観&保護者交流会(年長)、避難訓練(不審者)、誕生会(4月・5月生)、視力検査、給食参観(年中)、
歯科検診、尿検査、キンダーカウンセリング、園庭開放・ピクニック
- 6月/体重測定、内科検診、プール開き、歯磨き練習、避難訓練(火災)
体育参観&保護者交流会(年中)、音楽参観(年長)、眼科検診、
キンダーカウンセリング、園庭開放・ピクニック、保育参観、保護者交流会、
給食参観(年少)
- 7月/七夕会、誕生会(6月・7月)、避難訓練(地震)、個人懇談会、交通安全指導、
キンダーカウンセリング、1年生の集い(1年生)、園庭開放・ピクニック、終業式
- 8月/夏期保育、キンダーカウンセリング、避難訓練(地震)(キッズ・フレンズクラスのみ)
園庭開放
- 9月/始業式、誕生会(8月・9月)、英語参観(年少)、避難訓練(地震・バス)、身体測定、
願書交付、入園対象者説明会(1号・2号共通)、キンダーカウンセリング、
園庭開放・ピクニック、第1回学校関係者評価委員会、教育説明会
- 10月/運動会、遠足(全学年)交通安全指導、卒園記念写真撮影(年長)、幼稚園まつり、
願書受付・入園面接・手続日(1号、2号併願)、キンダーカウンセリング、
英語参観(年中)、園庭開放・ピクニック、避難訓練(不審者)
- 11月/体重測定、誕生会(10月・11月)、避難訓練(火災)、勤労感謝の日花束贈呈、
卒園記念写真撮影(年長)創立記念日、キンダーカウンセリング、英語参観(年長)
園庭開放・ピクニック
- 12月/生活発表会、クリスマス会、避難訓練(地震・バス)、キンダーカウンセリング、
園庭開放、終業式
- 1月/始業式、身体測定、避難訓練(地震、津波)、誕生会(12月・1月)、園庭開放、
キンダーカウンセリング、新入園児用品販売(1号)
- 2月/アートウィーク、節分豆まき、テーブルマナー(年長)、個人懇談会(希望者のみ)
お別れ交流会(全学年)、体重測定、交通安全指導、新入園児用品販売、
避難訓練(不審者)、キンダーカウンセリング、園庭開放
- 3月/ひなまつり会、お別れ会、双葉会決算総会&子育て支援講演会、避難訓練(火災・消火)
卒園式(年長保護者同伴)、新入園児説明会(1・2号)、誕生会(2月・3月)、
キンダーカウンセリング、終業式、園庭開放、第2回学校関係者評価委員会、
卒園生の集い(6年・20才・21才以上)

⑨正課指導(全学年)

- * 体育指導 年額：1,215,600円(税込)((株)エルステップス)
- * 英語指導 年額：1,355,400円(税込)(ECC)
- * 音楽指導 年額：776,000円(税込)(生涯音楽アカデミー)

- ⑳課外保育
- * 体育指導：毎週火・木曜日（年中・年長・卒園児）
・施設賃貸料：1名につき1,250円
 - * 英語指導：毎週月・金曜日（年少・年中・年長・卒園児）
・施設賃貸料：1名につき1,285円

21. キンダーカウンセラー事業（月1回）

- * キンダーカウンセラー（月1回）年額：585,300円（税込）

22. 子育て支援事業関係

- * 子育て相談（随時午前9時～17時）

- * ここにこクラブ（2歳児（5月～10月親子登園、11月～3月子どものみ登園）（週1回）

【平成30年度70名】

- ・年会費：5,000円
- ・保育料：前期 15,000円（5月～10月）（8月除く）
後期 11,000円（11月～3月）

- * 園庭開放（年間15回開催）・・・0才～2才親子対象（電話予約にて申込み（無料））

- * 園庭ピクニック（年11回開催）
- * 子育て支援講演会（年2回4月・3月）

23. 地域交流事業

- * ふたふうマーケット（年3回開催（5月、11月、3月））

- * 高齢者食事会（主催：北大冠地区福祉委員会）（年1回年長児：3月）

（*地震（6月）・台風（9月）により2回が中止になった。）

- * 松原幼稚園との交流（年4回：年長児）

24. 施設・設備関係

- * D棟排水工事（4月）

- * 園児用机（56台）購入（6月）

- * フェンス補修工事（10月）

- * D棟屋上防水工事（11月）

25. 「キッズルームふたば」運営方針

- * 一人一人の子どもはどの子どもも大切な存在であり、その人格を尊重して保育を行う。
- * 子どもたちが自分を肯定でき、自信を持って生きていける基礎を築いていく。
- * 保育所保育指針に規定されている保育内容を基本原則とし、保育士や友だちから刺激を受けながら、色々な活動を楽しめるようにする。

【平成30年度キッズルームふたばの総括】

0歳～2歳（合計19名）の小規模保育事業A型として平成27年度より開設した「キッズルームふたば」は、4年目を迎え、この3年の経験値から更に充実した保育の提供ができた。子どもの安全を第一に考え、乳幼児の健全な成長を促すために必要

な保育環境を考え、連携施設である高槻双葉幼稚園としっかり連携をとり保育が展開できた。また、就労している保護者や厳しい家庭環境にある保護者への支援として、高槻双葉幼稚園と連携して子どもの育ちについて保護者理解を深める活動を行い家庭との連携も図ることができた。

*キッズルームふたば（平成 30 年 4 月 1 日現在）小規模保育事業

学 年	定 員	職員配置基準	実 員	職員配置
0 歳児	3 名	1 名	2 名	1 名
1 歳児	8 名	3 名	7 名	3 名
2 歳児	8 名		8 名	
		1 名		1 名
合 計	19 名	5 名	17 名	5 名

（*4 月 15 日時点で 0 歳児 1 名、1 歳児 1 名（計 2 名）が入所【合計 19 名】）

26. 保育料及び諸経費

- 保育料：高槻市が所得に応じて決定（3 号認定児）
- 保護者会費：6, 0 0 0 円/年（1 ヶ月 500 円×12 ヶ月）
- 用品代：実費徴収

27. 入園時の費用

- 事務手数料：5, 5 0 0 円

28. 行事の実施予定

- 4 月 入園式、慣らし保育、身体測定、避難訓練、子育て支援講演会
- 5 月 尿検査、歯科検診、身体測定、避難訓練、誕生会
- 6 月 保育参観（保護者懇談会）、内科検診、眼科検診、身体測定、避難訓練
- 7 月 七夕会、プール遊び、身体測定、避難訓練、誕生会
- 8 月 プール遊び、身体測定、避難訓練
- 9 月 身体測定、避難訓練、誕生会
- 10 月 ふれあいあそび会、身体測定、避難訓練
- 11 月 内科検診、身体測定、避難訓練、誕生会、高槻双葉学園創立記念日
- 12 月 クリスマス会、身体測定、避難訓練
- 1 月 身体測定、避難訓練、誕生会
- 2 月 保育参観（保護者懇談会）、豆まき、身体測定、避難訓練
- 3 月 ひな祭り、身体測定、避難訓練、卒園式、誕生会、子育て支援講演会

29. 学園の長期計画

★園舎及びホール棟の建替え工事による借入金の返済計画

- ①借入先：北おおさか信用金庫（旧：摂津水都信用金庫）
- ②借入金総額：613,000,000円（平成20年3月末）
- ③返済条件：
 - ・返済期間：35年（420回）【2008.4～2043.3】
 - ・返済方法：元金均等返済
 - ・金利：変動金利（信金中央金庫の短期プライムレイトに0.5%上乘せ）
 - ・毎月返済元金：1,450,000円（年額：17,400,000円）
- ④借入金残：417,600,000円（H.31.3時点）
 - 金利：1.275%（H.30.6～）【*金利利率変更 1.775% →1.275%】

★施設拡充引当金の確保・・・毎月600,000円の積立金（北おおさか信用金庫） 日本生命保険（施設拡充引当金）

30. 業務委託

*施設の清掃業務委託（(株)高浄）

- ・年額 1,531,000円（1年分）（税込）

*スクールバス運行委託（(株)サンワ運行委託）

- ・年額 5,261,000円（1年分）（税込）

*園庭メンテナンス委託（プランテリア（株））

- ・年額 205,000円（1年分）（税込）

*遊具点検委託（(株)チャイルド社）

- ・年額 30,000円（年2回実施）（税込）

*ダムウエーター保守点検委託（(株)クマリフトコーポレーション）

- ・年額 110,160円（保守点検年6回、定期検査年1回）（税込）

*ESシステム（電力及び保安監視）（日本テクノ（株））

- ・年額 258,000円（税込）

*園舎メンテナンス委託（(株)橋本工務店）

- ・年額 518,400円（税込）

*ガスヒーポン保守契約（大阪ガス（株））

- ・年額 155,628円（税込）

31. 平成 30 年度学園総括

『高槻双葉幼稚園』は、幼稚園型認定こども園として2年目を迎え、多々、矛盾点をはらみつつ「教育」と「保育(福祉)」の整合性を模索し続けた年となった。当園は幼稚園型認定こども園ということで、幼保連携型と異なり、あくまでも、学校教育法に位置付けられた「幼稚園」として、子どもたちの成長を中心に据え、質の高い幼児教育を提供することを経営理念として運営してきた。

本年度4月に改定された幼稚園教育要領に基づき、当園、教育課程の見直しや教育・保育のあり方について再検証する年となり、特に幼稚園教育要領の改訂で新たに表現された「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」についても当園の教育内容と照らし合せ、教職員が意識下において日々の教育・保育が行えるよう園内研修等を行った。

一方、働く保護者の就労支援という機能については、当然しっかり対応しつつも専業、就労に関係なく、子どもの成長を一番に考え、園方針に従い、園と同じ方向を向いて子どもたちの健全な育ちに対して協力体制が持てるよう親育ち支援にも力を入れてきた。

また、預かり保育については、ホームクラス(1号認定児)とフレンズクラス(2号認定児)の運営についても、昨年度の運営の反省をもとに、園児にとってより良い保育環境を模索しながらの運営を行ってきた。ホームクラスとフレンズクラスの特性を考えたカリキュラムを立てて昨年より充実した保育環境を提供できた。

次に『キッズルームふたば(小規模保育事業)』は、過去3年の運営をベースに更に充実した保育が行われ、連携施設である高槻双葉幼稚園の園児と毎日園庭にて交流し、行事も各月の誕生会や七夕会、クリスマス会、ひな祭り会等への参加、年少児との交流活動等、緊密な連携活動が行えた。同じく連携施設である「のぼら保育園高槻」とも月1回の園庭開放や、「キッズルームふたば」と同じく行事への参加で入園における段差の解消につながった。

今後は更なる保育の質の向上を図るため、園内研修や外部研修の参加により保育士の資質向上を図って行きたい。

次に『法人』として学園の経営については、昨年度(H29年度)決算では法人として収支がほぼイコールであったが、幼稚園部門の赤字を小規模保育事業(キッズルームふたば)の黒字で補完する形となっており、大きな課題として捉えていた。今年度は、園児増(H29より25名増)と公定価格の単価改定、当園の特定負担額(上乗せ徴収)の減額対象者が一部卒園し、特定負担額の収入が増えたことにより幼稚園部門においても収支差額が黒字に転じた。

小規模保育事業(キッズルームふたば)においても黒字となったが、保育士の増員と正職員化(2名)を行ったため、昨年度よりは当年度収支差額が減少した。

しかし、主体事業である幼稚園部門が黒字化したことで借入金返済があるものの一步、健全経営に近づけたと考える。

一方、新制度移行2年を経過し、安定的に「処遇改善手当Ⅰ・処遇改善手当Ⅱ」を教職員に給付することができ、教職員の就労意欲は高まったと思われるが、まだまだ人材確保、教育・保育の質の向上のためには所得の底上げが必要なため、次年度以降ベースアップ等による改善を行う予定である。

そのために2019年度（平成31年度）より在園児の特定保育料を1号：6,000円、2号：8,000円、新入園児については、1号：8,000円、2号10,000円に改定し、その原資に充てる予定である。所得だけではなく、その他の就労環境においても教職員にとって働きやすい職場、長く勤めることのできる職場の実現に心を砕いて行きたい。仕事と子育て或いはプライベートな時間が両立でき、園児のために毎日、明るく元気に教育・保育が提供できるよう次年度も働き方改革への取り組みを継続して行う。

また、平成30年度は自然災害（地震（6月）台風（9月））が起こり、大きな被害をもたらした。当園においても園舎の亀裂やフェンスの倒壊等、想像をこえる被害があった。しかし、地震の時も危機管理マニュアルに従い平時より行っていた訓練が実を結び適切な避難誘導、保護者への引き渡し迅速に行うことができた。今後も園内に設置している「危機管理検討グループ」により地震、火災、水害、不審者等の対応マニュアルを充実し、色々な角度で被害を想定した避難訓練を実施し、園児たちの命を守って行きたい。